

平成 20 年 4 月 17 日

フィッシング詐欺対策の強化について
- インターネットサービスのセキュリティ強化 -

足利銀行(頭取 池田憲人)では、当行ホームページ(以下、HP)および個人・法人インターネットバンキングサービス(以下、IB)のフィッシング詐欺対策を強化するため、真正サイト証明ツールを導入するとともに、万一の場合、フィッシング被害を最小限にとどめる体制を整備いたします。

当行では、今後もお客さまに安心してインターネットサービスをご利用いただけるよう、セキュリティ強化に努めてまいります。

1. 強化策の概要

(1) 真正サイト証明ツールの導入

「PhishWall(フィッシュウォール)」

当行HPとIBを対象とし、お客さまが当行HPやIBにアクセスした場合、ブラウザのツールバーに「緑の信号」が表示され、真正サイトに接続していることを確認できるものです。

PhishWallは、株式会社セキュアブレインが提供しているツールです。

一部未対応サイトがあります。

「EV SSL 証明書」

当行個人IBと法人IBの「照会・振込サービス」と「外国為替取引サービス」を対象とし、IBにログインすると、ブラウザのアドレスバーが「緑色」に表示され、真正サイトに接続していることを確認できるものです。

法人IB(外国為替取引サービス)は平成20年5月に取扱開始となります。

(2) フィッシング詐欺サイトの迅速な閉鎖に向けた体制整備

万一、フィッシングサイト(偽サイト)を発見した場合に、被害の有無にかかわらずこれを閉鎖(シャットダウン)するサービスを導入し、フィッシング被害を最小限にとどめる体制を整備いたします。

2. 導入の経緯

近年のインターネットの普及に伴い、金融機関を装った電子メールなどにより、お客さまをフィッシングサイトに誘導し、個人情報等を搾取する犯罪(フィッシング詐欺)が社会問題となっています。

当行ではお客さまにより安心してインターネットサービスをご利用いただけるよう、フィッシング詐欺対策を強化し、被害の未然防止を図ります。

3. 取扱開始日

平成 20 年 4 月 21 日(月)

以 上

真正サイト証明サービスの利用方法および表示イメージ

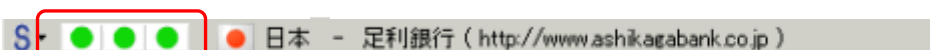
■ フィッシュウォール

< 利用方法 > ブラウザが Internet Explorer5.5 以上のパソコンで「フィッシュウォール」をインストールし、ブラウザを再起動することで、ツールバーが表示されます。インストール用バナーは当行ホームページにて無償で提供しております。

< 表示イメージ >



緑の信号が表示されれば、安全です



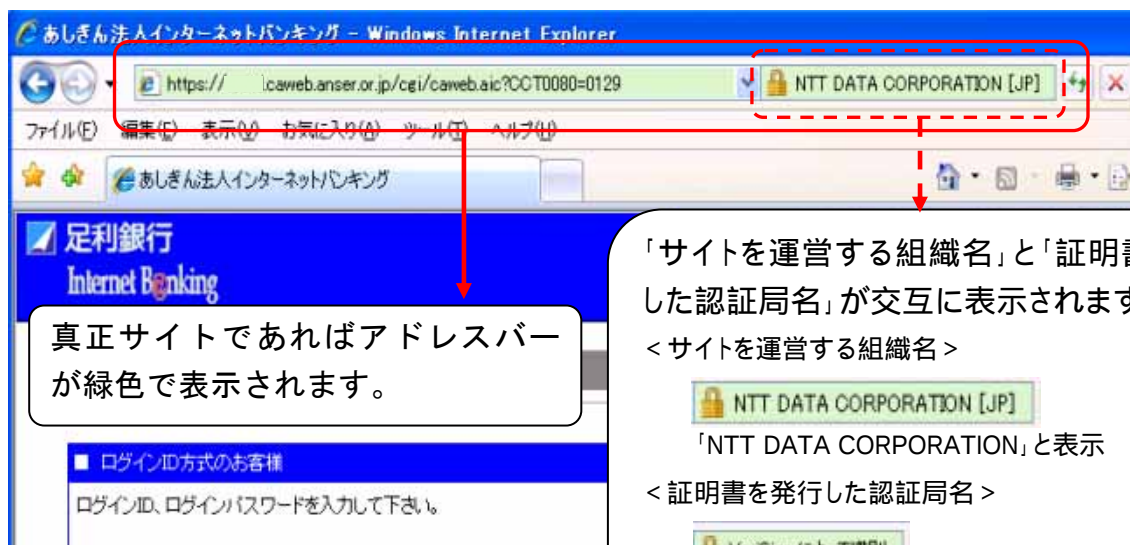
< 表示内容 >

	の場合	➡	PhishWall対応サイトの時の表示
	の場合	➡	PhishWall未対応サイトの時の表示
	の場合	➡	PhishWallが危険と判断した時の表示

■ EV SSL証明書

< 利用方法 > ブラウザが Internet Explorer7.0 のパソコンの場合にのみ利用できます(標準装備)。「EV SSL証明書」の表示機能を「有効」に設定することで、アドレスバーが表示されます。

< 表示イメージ >



真正サイトであればアドレスバーが緑色で表示されます。

「サイトを運営する組織名」と「証明書を発行した認証局名」が交互に表示されます。

< サイトを運営する組織名 >



「NTT DATA CORPORATION」と表示

< 証明書を発行した認証局名 >



「VeriSign」と表示